

令和 5 年度 事業別行政経営計画書

所属名	議会事務局	予算科目 款-項-目(事業)	01-01-01(02)
事業名	議会運営事業		

■ 基礎情報

目的	議会の円滑な運営を図ること
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本会議、委員会、協議会の会議運営補助 ・ 会議録の作成 ・ 議員視察の対応 ・ 政務活動費の支出管理
現在における経過又は課題	<p>(1) タブレットの導入とペーパーレス会議</p> <p>会議運営及び事務の効率化を目的に平成30年12月定例会よりタブレット端末を利用したペーパーレス会議システムを導入したことにより、職員の事務負担及び紙の使用量の削減に努めてきた。概ね順調に運営できているが、令和5年4月の一般選挙により大幅に議員の入れ替わりが予想されるため、新議員に最低限の操作方法を習得してもらえるかどうか課題となる。</p> <p>(2) 議場及び委員会室の音響設備</p> <p>議場の音響設備の構成は一部を除き庁舎建設当時のものであるため、席によっては発言者の音声を拾いにくいマイクもある。また、過去には音声がスピーカーから流れないトラブルも生じたため、設備全体の更新も検討したが、総額で2千万円程度は必要になることから見送っている。</p> <p>第1委員会室の音響設備も会議中に連続してマイクが使用できなくなるトラブルが発生し、修理での対応ができなかったため令和3年2月に設備一式を更新した。</p> <p>(3) 議員改選による影響</p> <p>令和5年4月に行われる統一地方選挙により選出される新議員に対し、上記のタブレット端末の操作方法と合わせ、議会運営の基本を学んでもらう必要がある。</p>
令和5年度の目標又は改善策	<p>(1) 新議員への操作研修を選挙後だけではなく、必要に応じて定例会開催月の前月などに開催し、基本的操作に慣れてもらう。</p> <p>(2) 議場の音響設備については、本会議前に動作確認を行う。また、音声を拾いにくいマイクについては、接点復活剤を卓上のマイク接続部分に塗布することで症状が改善することがあるため、会議前にこの作業を行うようにする。</p> <p>(3) 5月中旬をめぐりに新議員を対象にした研修会の開催を実施する。</p>

■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第6章	持続可能な地域経営				
	基本政策	第2節	行財政経営				
成果指標							
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値

■ 3年間の目標

目標	議場の音環境の快適化					
項目(単位)	R3 実績	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R7 目標	

■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R6 年度	議員一人ひとりの知識向上のための研修の実施。
R7 年度	議員一人ひとりの高度な知識向上のための研修の実施。

■ 作業工程 (当該年度)

月	作業内容
5月	新議員研修(議会運営・タブレット操作) ※その他、必要に応じてタブレット操作の研修等を定例会等開催前に実施する

■ 目標又は改善策に対する取組内容

■ 評価

令和 5 年度 事業別行政経営計画書

所属名	議会事務局	予算科目 款-項-目（事業）	01-01-01(04)
事業名	議会広聴広報事業		

■ 基礎情報

目的	<p>町政に係る重要な情報を議会独自の視点で住民に周知し、多様な広報手段で、より多くの住民が議会と町政に関心を持つように努めること</p>	
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会広報誌「おおぐち議会だより」の編集及び発行 ・ 議会報告会、意見交換会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会ウェブサイトの更新 ・ 本会議のライブ中継
現在における経過又は課題	<p>この事業は、従来は議会広報常任委員会が所管する広報事業のみであったが、令和3年度から当該委員会が広聴事業も所管することになった。所管事務の追加により委員会の名称が議会広聴広報常任委員会に変更されたため、それに合わせて事業名も変更した。</p> <p>広報活動では、全国町村議会広報コンクールにて優秀な成績を収めた町村議会への視察のほか、雑誌編集等の専門家が講師を務めるクリニックにおいて指導を受け、より多くの住民に手に取って読んでもらえる広報誌づくりに取り組んでいる。</p> <p>近年、他の議会では定例会の結果を報告するだけでなく、議員が住民を取材することで議会と住民の距離を近づけるような工夫をしている事例が増えており、そのような団体がコンクールにおいても高い評価を受けている。本町議会も毎号住民1人（あるいは1団体）が登場する「まちの人気者」というコーナーを設けていたが、「まちかどインタビュー」というコーナーにリニューアルし、登場する住民を2人に増やす工夫をしている。</p> <p>広聴活動は、コロナ禍ということもあり意見交換会・議会報告会は令和2・3年度は中止しており、令和4年度は実施方法を工夫し3年ぶりに意見交換会を実施した。議会広聴広報常任委員会の所管にした際に開催要項を改正してから初めて開催するものであったため、開催方法をめぐる段取りなど様々な課題が出てきた。</p>	
令和5年度の目標又は改善策	<p>住民の声を議会運営に反映させる機会を増やすため議会サポーター制度（あるいはモニター制度）を設け、そのサポーター（あるいはモニター）になった住民の方にも議会だよりの紙面に登場していただき、より身近に感じてもらえる議会・議会だよりを目指していきたい。</p> <p>意見交換会・議会報告会の開催方法を現実に即した形に整理して開催要項を改正しているところであり、令和5年4月の改選後の新メンバーで実施する中で新たな課題が出てきたら、その都度、委員で協議しながら改善していく。</p>	

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第6章	持続可能な地域経営				
	基本政策	第3節	情報発信・共有				
成果指標							
H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値

■3年間の目標

目標	議会だよりの満足度の向上					
項目(単位)	R3実績	R4目標	R5目標	R6目標	R7目標	

■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R6年度	広報に関する研修の受講や他議会の広報誌の検証
R7年度	広報に関する研修の受講や他議会の広報誌の検証

■作業工程 (当該年度)

月	作業内容
5月～	議会サポーター、モニターについて調査(近隣議会の視察含む) 9月上旬までを目途に当該制度の要綱を作成
7～8月	広報研修会(愛知県町村議会議長会主催) 先進地視察研修
10月～	議会サポーター、モニターの公募開始(議会だより9月定例会号)

■ 目標又は改善策に対する取組内容

■ 評価